

挨拶する佐藤理事長

新商品

山崎機工株

浅溝エンドミルを新開発

浅溝加工と耐久性を両立

機械用刃物の製造販売及び再研磨を行う山崎機工株（広島県福山市、

高橋誠社長）は3月より、木質化粧貼り切削を主眼とした浅溝エンドミ

ル「ミックスミル（MIX・mill）」の販売を開始した。

同社開発の「ミックスミル」は超硬エンドミルとダイヤモンド分割刃ルーターの長所を組み合わせた木工機械用刃物。3つのミックスと7つの効果を打ち出した特許申請中の製品。3つのミックスは①刃物表面のダイヤモンドコーティング、②浅溝加工が可能、

③屑はけ機能を改良、以上の3点。硬母材にダイヤモンド被膜を高密着させることによって耐磨耗性が向上。ダイヤモンドと同等以上の耐久性を実現した。溝深さ2mmまで抑え込みが可能な浅溝加工は化粧貼り材の表面めくれや欠けの発生を防ぎ、綺麗な仕上がりとされる。また、刃物の溝構造の改良により、加工時の屑はけ効果が上がリ、材料焼けを防ぐ。

全超硬なので高速送りが可能であり、CNCマシンングセンターやNC加工機など、高性能の加工機にも対応。小径刃物でありながら、従来になかった浅溝加工と耐久性を両立させた。

新製品「ミックスミル」は同社の代理店を通じて全国に販売。販売価格は商品の種類によって異なる。つようにしている。

仕様

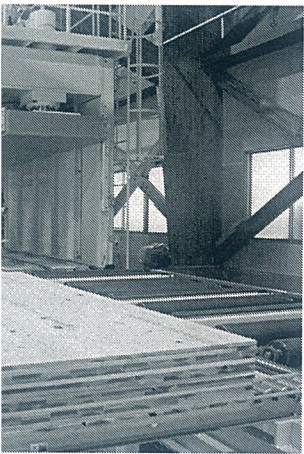
国土交通省

中規模木造建築のポイント
4階建て木造の建築費を試算

国土交通省大臣官房官庁管轄部整備課は1月17日、中規模木造（耐火建築物）の試設計とコスト検討のポイントについて公表した。

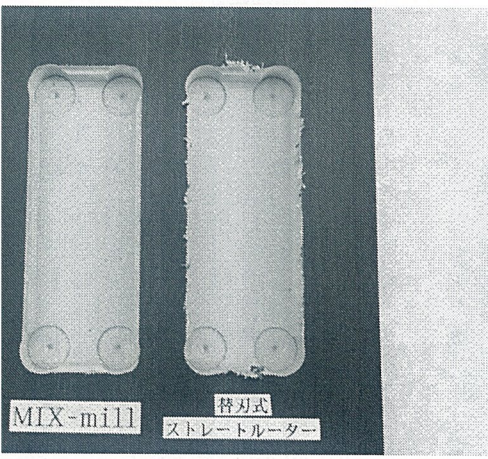
試設計は、有識者による検討や専門工事業者の見積価格、刊行物価格をもとに、官庁管轄部で試設計を行い、その中から設計を行う過程におけるポイントを取りまとめたもの。中規模木造庁舎（4階建て、300

庁舎の平面計画、構造設計、コスト検討から成り、木造建築物の計画・設計に際しての参考資料として役立つ



などを想定して設計

軸組構法では、150分の1以内を条件として設計。層間変形の制御のため、構造用合板による耐力壁・床の剛性の割増を検討。CLTパネル構法では等価線材置換により、各接合物を引張・圧縮・せん断バネによりモデル化して検討。1次及び2次設計（保有水平耐力計算）において、必要な性能を有することを確認。コストとして、本体建築工事部分の直接工事の金額は、Aプランは㎡当たり26万円程度（坪換算で約85万円）、Bプランは㎡当たり27万円（坪換算で約89万円）となった。コストは直接工事費（工事目的物を造るために直接必要とする価格）



一般的なストレートルーターによる作業の差